

令和6年度全国学力・学習状況調査 結果の考察

1 学力調査から

国語、算数とも、全国平均（以下、全国）とほぼ同程度（±5ポイント以内）でした。

【国語】

「主語と述語」の関係、「人物像の読み取り」が好結果でした。
基礎的、基本的な内容の定着と国語の授業や読書活動などの成果が見て取れます。
「漢字の書き取り」や「条件作文」、に課題がありました。

- ①漢字の定着のために、朝学の時間で「漢字が書ける力」を鍛える。
- ②条件に合った作文が書けるために、考えを書く活動を増やします。

これらの活動を低学年から積み重ねることを継続します。

【算数】

「直径や演習の長さ、円周率の関係」「問題場面の立式」が好結果でした。
基礎的、基本的な内容の定着や算数用語を大切にした授業の成果が見て取れます。
「式や図を読み取り文章で説明する」「問題意を正しく読み取る」に課題がありました。

- ①問題文を読み取ること、題意を正しく理解することを、授業で大切にします。
- ②条件に合った文章にして説明ができるために、考えを書く活動を増やします。

これらの活動を低学年から積み重ねることを継続します。

2 児童質問紙から

【チャレンジする力】

「自分にはよいところがある」「先生が良さを認めてくれる」は、全国平均と同程度、
「先生は、分かるまで教えてくれる」は、全国を大きく上回り（+10%）ました。

【人を大切にする力】

「困った人がいたら助ける」「いじめは絶対ダメ」「人の役に立つ人間になりたい」
この3つは、全員が肯定的な回答でした。全国平均を上回って（+5%以上）います。

【考えを伝え合う力】

「違う意見について考えるのは楽しい」「考えが伝わるよう工夫した」は、全国を下回り（-5%以上）ました。「話し合いで考えを広げている」は、全国を上回りました。

【考えて行動する】

「学習時間1日1時間以上」「スマホ等でゲームやSNS、動画視聴1日1時間以下」は、
どちらも全国だけでなく市内平均も極めて大きく下回り（-20%以上）ました。

【明日も行きたくなる学校】

「学校に行くのは楽しい」は、全国を下回りました。「友だち関係に満足」「生活の中で幸せな気持ちになる」は、全国を大きく上回りました。

3 全体を通して

「人を大切にする力」の高さは、日頃から、保護者や地域の方からのやさしさに含まれている表れです。この力を土台に、話し合い活動や問題解決型の学習に取り組み「考えを伝え合う力」を育てます。また、主体的に学習できるよう、「知りたい、やってみたい」を大切にした授業に取り組み「チャレンジする力」を伸ばします。

一方、家庭学習の時間は国や市の平均よりも短く、スマホ等に向かう時間は国や市の平均よりも長く、大きな課題と捉えています。家庭学習の内容や方法を見直します。保護者参加のスマホ教室の実施、スクールカウンセラーによる全校講話「ゲーム脳の恐怖（仮）」の開催など、スマホ等との向き合い方を考える力を高めたいと考えています。